

## 平成28年度進行管理・評価シート

### 亀山市歴史的風致維持向上計画（平成21年1月19日認定）

（最終変更平成29年3月31日）

#### 口進捗評価シート(様式1)

##### ①組織体制(様式1-1)

1 「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置	.....	1・2
-------------------------	-------	-----

##### ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 景観行政団体への移行、亀山市景観計画の策定	.....	3
-------------------------	-------	---

##### ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 東海道街道環境整備事業(鈴鹿峠)	.....	4
2 東海道街道環境整備事業(坂下宿)	.....	5
3 東海道街道環境整備事業(太岡寺躰)	.....	6
4 東海道街道環境整備事業(野村集落～野村一里塚)	.....	7
5 「関の山車」会館整備事業	.....	8
6 歴史的風致形成建造物修理事業	.....	9
7 東海道関宿街道まつり	.....	10
8 玉屋宿泊体験	.....	11
9 亀山市納涼大会	.....	12

##### ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 歴史文化資産の調査・研究の充実と条例に基づく指定の推進	.....	13
2 保護事業の推進	.....	14
3 埋蔵文化財の保護	.....	15
4 文化財の総合的な把握による普及・啓発の推進	.....	16・17
5 文化財と一体となっている周辺環境の整備	.....	18
6 市民・地域の参画による文化財を核としたまちづくりの推進	.....	19・20

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	.....	21
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
歴史まちづくりの効果	.....	22

**□総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2)**

1 歴史的風致を示す伝統文化、歴史的建造物等の保存と活用	.....	23
2 新たな歴史文化遺産の発掘と調査等による価値付け	.....	24
3 歴史的風致を維持向上するために必要な諸施策・計画及び関連施設の整備	.....	25
4 歴史的風致を維持向上するための担い手の育成	.....	26

**□総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)**

1 歴史的風致維持向上施設の整備・管理	.....	27
---------------------	-------	----

<b>□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)</b>	.....	28
--------------------------------	-------	----

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	全市をあげて歴史的風致の維持向上を図っていくために、「(仮称)亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置を行い、事業担当部署間の横断的調整及び庁内合意形成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内で実施される事業については、事業調整担当室(都市計画室・まちなみ文化財室)と事業実施室との間で、事業内容等について個別に調整を進めるとともに、事業調整担当室で進行管理を行った。 【事業担当室数(累計)】 計画認定時(2室)→H21(6室)→H22(6室)→H23(8室)→H24(8室)→H25(8室)→H26(8室)→H27(8室)→H28(8室) 平成28年度は、担当室の名称及び数に変化はない。 進行管理・評価については、事業調整担当室と事業実施室との間で協議した後、亀山市歴史的風致維持向上計画協議会において報告し意見聴取した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		特になし	
状況を示す写真や資料等			
■歴史まちづくりへの全庁的な取り組み(事業担当室の推移)			

■ 亀山市歴史まちづくり事業調整会議



【撮影：平成28年4月18日】

<開催日>

- ・平成28年4月18日(月)
- ・平成28年5月31日(火)
- ・平成28年7月11日(月)
- ・平成28年9月23日(金)
- ・平成28年10月7日(金)
- ・平成28年11月28日(月)
- ・平成29年1月13日(金)
- ・平成29年1月23日(月)

<打合せの概要>

- ・進捗評価について
- ・平成28年度事業の進捗状況について

■ 東海道整備方針検討会

<開催日>

- ・平成28年5月27日(金)
- ・平成28年6月28日(火)
- ・平成28年7月13日(水)
- ・平成28年8月2日(火)
- ・平成28年8月26日(金)
- ・平成28年9月30日(金)
- ・平成28年10月14日(金)
- ・平成28年10月25日(火)

<打合せの概要>

- ・路面美装化について
- ・散策休憩施設について
- ・案内看板の設置箇所について

■ 亀山市歴史的風致維持向上計画協議会(平成29年2月6日(月)開催)



【撮影：平成29年2月6日】

<協議会の概要>

- ・経過報告
- ・議事  
歴史的風致形成建造物候補の指定について  
進行管理・進捗評価・総括評価について

	評価対象年度	平成28年度
項目	現在の状況	

景観行政団体への移行、亀山市景観計画の策定	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------------------	---

本市では、平成23年6月に景観計画を策定し、市域全域を景観計画区域とした。景観計画区域のうち本計画に位置付けている重点区域については、景観形成推進地区及び景観重点地区の候補地とし、より積極的な景観形成基準等を定める地区とし、高さの規制を行っている内容。さらに、景観形成推進地区及び景観重点地区において、良好な景観の形成が特に必要な地区は、地区住民の合意が得られるなどの条件が整い次第、景観地区や高度地区制度を活用する方針である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

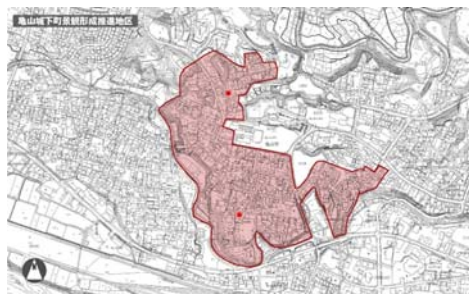
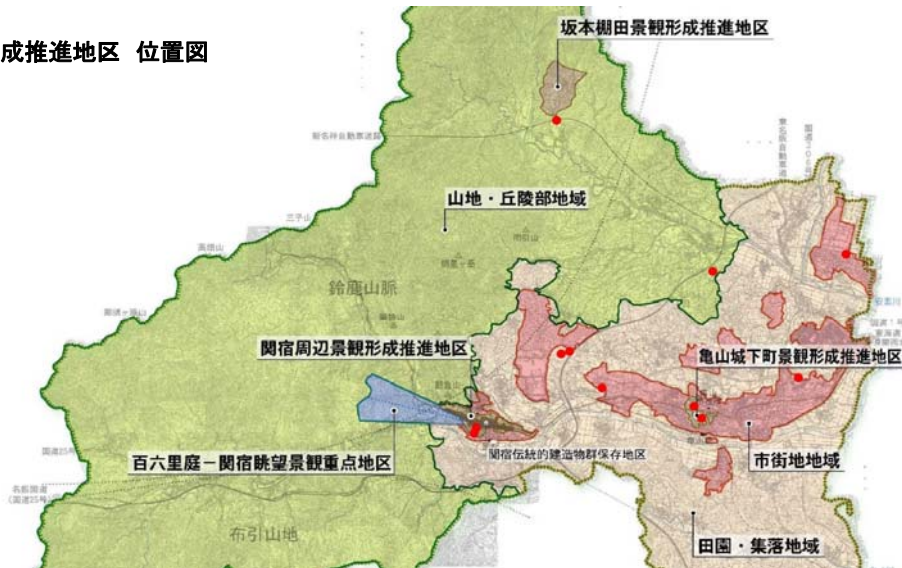
平成23年9月1日より、亀山市景観計画に基づく届出事務を開始し、景観形成推進地区内では、23年度は4件、24年度は8件、25年度は4件、26年度は7件、27年度は13件、28年度は6件(1月末現在)の景観届出を審査し、申請者とは意匠形態・色彩について詳細に協議を行った。これら市景観計画による景観誘導のほか、これまで不定期で実施してきた屋外広告物のパトロールを、平成24年4月から毎月実施することとし、良好な景観形成の推進に取り組んだ結果、環境美化が進んだ。また、重点区域内に2箇所指定した景観形成推進地区(亀山城下町、関宿周辺)に対し、景観計画の周知チラシを作成し周辺住民への周知を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

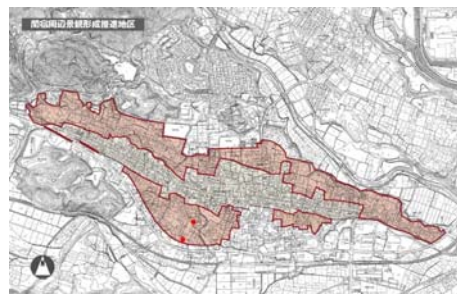
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし
--	------

状況を示す写真や資料等

■景観形成推進地区 位置図



亀山城下町景観形成推進地区(上記地区の拡大)



関宿周辺景観形成推進地区(上記地区の拡大)

■屋外広告物撤去



【撮影:平成29年1月】



		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
東海道街道環境整備事業(鈴鹿峠)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	東海道上の鈴鹿峠において、峠の茶屋跡・峠道など関連する遺跡を保存整備するとともに、案内標識・ベンチ・東屋等を設置して街道環境を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、検討を行った。(平成28年度:8回開催) ・整備方針決定次第、当区間の整備を推進していく。 ・鈴鹿峠周辺の街道の保存整備・活用について三重県と亀山市の関係部局で保存活用検討会を開催した。(1回開催) ・散策者等の安全を図るため市関係部局による鈴鹿峠街道の落葉清掃等を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	東海道全体の整備方針を決定した上で年次計画に基づき事業化する。		
状況を示す写真や資料等			
<p>■鈴鹿峠状況</p> 			
<p>■鈴鹿峠の街道の清掃状況</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin: 0 20px; font-size: 2em; color: blue;">➡</div>  </div>			
作業着手前【撮影:平成28年12月】		作業完了後【撮影:平成28年12月】	

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
東海道街道環境整備事業(坂下宿)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～平成32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	東海道上の坂下宿において、路面を美装化、案内標識・ベンチ・東屋を設置して街道環境を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、検討を行った。(平成28年度:8回開催) ・整備方針決定次第、当区間の整備を推進していく。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	東海道全体の整備方針を決定した上で年次計画に基づき事業化する。		
状況を示す写真や資料等			
<p style="text-align: center;">■坂下宿状況</p> 			

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
<b>東海道街道環境整備事業(太岡寺駅)</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26～32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	東海道上の太岡寺駅において、路面を美装化するとともに、案内標識・ベンチ・東屋・植栽を設置し、街道環境を整備する。		
<b>定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で</b>			
太岡寺駅全体整備延長約800mの内、歩道整備に係る盛土工事を平成26年度は200m、平成27年度は240m、平成28年度に230m行った(実施:国土交通省及び亀山市)。 また、全体植樹本数80本の内、平成26年度に松及び桜を合わせて9本、平成27年度に桜10本、平成28年度も桜14本を植樹した。 さらに、地域住民による桜まつり等のイベント活動が4年連続で行われ、地域住民と散策者との交流が促進された。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成26年度に事業期間を変更し、歩道、植樹整備は計画的に進んでいる。路面美装化等については、交付金対象とならず、市単費で実施予定。		
<b>状況を示す写真や資料等</b>			
<b>■太岡寺駅整備状況</b>			
			
整備前【撮影:平成26年9月】		整備状況【撮影:平成28年1月】	植樹作業状況【撮影:平成29年3月】
			
		カゴ砕盛土工事状況【撮影:平成28年1月】	
<b>■地域コミュニティによる活動状況</b>			
			
神辺地区コミュニティによる桜まつりの実施 平成28年4月3日実施【撮影:平成28年4月】			





		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
東海道街道環境整備事業(野村集落～野村一里塚)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26～32年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	東海道上の野村集落において、路面を美装化するとともに、案内標識・ベンチ・東屋を設置し、街道環境を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、検討を行った。(平成28年度:8回開催) ・整備方針決定次第、当区間の整備を推進していく。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		東海道全体の整備方針を決定した上で年次計画に基づき事業化する。	
状況を示す写真や資料等			
<p><b>■野村一里塚状況</b></p> 			
<p><b>■野村集落状況</b></p> 			

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
<b>「関の山車」会館整備事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28～30年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)	
計画に記載している内容	文化財としての山車を保管するとともに、見送り幕等の関連品や資料の保管、学習・展示、地元保存会や住民の寄り合いや山車の保存・伝承活動を行うため、「関の山車」会館として整備する。関宿伝統的建造物群保存地区内のメイン道路である旧東海道に面しており、保存地区の活用も図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・建設地の用地公有化を行い、文化財調査や建築物の実施設計に着手した。用地面積:1,091.47m2 ・伝統的建造物群基盤強化事業(県補助)を活用して建設予定地で「関の山車」お囃子披露会を開催した。参加者80名(内、子ども40名) ・文化財保護事業による市指定有形民俗文化財「関の山車」に関連した文化財補助金の交付を行った。補助金交付件数:3件 ・山車関係自治会がコミュニティ助成事業を活用して山車天障子の新調を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・計画どおり山車会館整備事業に着手した。引き続き、地域住民や保存団体等と連携し、会館整備と整備後の活動への機運を高める。	
状況を示す写真や資料等		
<b>■建設予定地において「関の山車」お囃子披露会を開催(伝統的建造物群基盤強化活用事業 県補助金)</b>		
		
「関の山車」お囃子披露会【撮影:平成28年7月9日】		
<b>■文化財保護事業による「関の山車」に関係した文化財の補助金の交付</b>		
		
中町三番町丸提灯修理後【撮影:平成28年6月】 木崎筒丸提灯修理後【撮影:平成28年6月】 中町四番町筒丸提灯修理後【撮影:平成28年6月】		
		
中町四番町山車天障子新調【撮影:平成28年7月】 中町四番町山車取付状況【撮影:平成28年7月】		整備位置図

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
<b>歴史的風致形成建造物修理事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26～29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	民間所有の歴史的風致形成建造物に指定した建造物について、その修理に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・福泉寺山門(歴史的風致形成建造物・市指定有形文化財)の修理工事について、平成27年度に調査設計を完了した。工事の実施について所有者と協議中であり平成28年度～平成29年度で修理工事を実施する予定。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		特になし	
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p><b>■福泉寺山門</b></p>  <p>福泉寺山門【撮影:平成27年9月】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>福泉寺山門調査設計成果品【撮影:平成28年3月】</p> </div> </div>			

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
東海道関宿街道まつり		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和61年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	「関の山車」巡行。お囃子の発表。引き回しへの一般市民の参加。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・街道まつりで「関の山車」巡行等を行い、お囃子等の保存伝承活動を行った。 ・街道まつりへの参加来場者数:12,000人 ・江戸時代の亀山藩主石川家の参勤交代行列の再現を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			
<p>■東海道関宿街道まつり</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「関の山車」巡行【撮影:平成28年11月6日】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大名行列再現 【撮影:平成28年11月6日】</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>			



		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
<b>玉屋宿泊体験</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成9年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重要伝統的建造物群保存地区・関宿内にある関宿旅籠玉屋歴史資料館(市指定文化財建造物)において、小学校高学年を対象とした宿泊体験学習会。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市指定文化財建造物を会場として利用し、関宿のまちなみについて学習することにより、昔の人々の暮らしを理解し、参加した子どもたちの文化財保護意識の向上に資することができた。 主催: 亀山市子ども会育成者連絡協議会 参加者数: 28名			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			
<p><b>■玉屋宿泊体験</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>「玉屋」についての説明 【撮影: 平成28年8月】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>関宿かるたウォークラリー 【撮影: 平成28年8月】</p> </div> </div>			

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
<b>亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯おどり)</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成4年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統文化の発表「灯踊り」(灯おどり保存会)、「葛葉太鼓」(葛葉太鼓保存会)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・納涼大会への参加来場者数:12,000人 ・多くの人々の前で演奏したり、市民が多数参加することにより、地域の伝統芸能を周知することができただけでなく、新たな担い手の育成が図られ、各保存会の活性化につながった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			
<p><b>■亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯踊り)</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>葛葉太鼓(葛葉太鼓保存会)【撮影:平成28年8月】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>灯踊り(灯おどり保存会、市民総踊り)【撮影:平成28年8月】</p> </div> </div>			

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
<b>歴史文化資産の調査・研究の充実と条例に基づく指定の推進</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	地域の貴重な歴史文化資産を発見し適切に保護できるよう、文化財の調査・研究の充実につとめ、特に重要な歴史文化資産については、条例にもとづく文化財としての指定を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・重点区域内において、文化財の指定を進めた。 【重点区域内における文化財指定等された歴史的建造物の数】 H20:国登録(1件)・県指定(1件)・市指定(8件)→H21:国登録1件追加、国登録(2件)・県指定(1件)・市指定(8件)→ H22:変更なし→H23:変更なし→H24:市指定1件追加、国登録(2件)・県指定(1件)・市指定(9件)→H25:変更なし→H26: 県指定(1件)→H27:変更なし→H28:変更なし			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		特になし	
状況を示す写真や資料等			

評価対象年度		平成28年度
項目		現在の状況
<b>保護事業の推進</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	歴史文化資産を適切に管理し、また積極的に保存・活用を図るためには、必要に応じて保護事業を進める必要がある(維持・管理、修理・修復、公有化等、防災)。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史まちづくり事業と連携して、文化財を適切に保存・活用するための事業を実施した。</li> <li>・文化財の修理等に対する支援:市指定有形民俗文化財「山車」(木崎自治会)(中町三番町自治会)(中町四番町自治会)の付属品の修理。</li> <li>・文化財防災のための訓練(国登録有形文化財建造物「白川小学校」における文化財防火デー防火訓練)</li> <li>・文化財防火デーにあわせて、有形文化財所有者及び管理者に対し、文書で火災についての注意喚起と防火活動の啓発を行った。</li> <li>・市公共事業に対する文化財保護として、市関係各室に事業照会し文化財保護協議を実施。</li> </ul>		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし	
状況を示す写真や資料等		
<p><b>■文化財の修理等に対する支援</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>中町三番町丸提灯修理後【撮影:平成28年6月】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>木崎筒丸提灯修理後【撮影:平成28年6月】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>中町四番町筒丸提灯修理後【撮影:平成28年6月】</p> </div> </div>		
<p><b>■文化財防災のための訓練</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>文化財防火デー消防訓練(平成29年1月25日)。                      国登録有形文化財建造物「白川小学校」の敷地内において消防訓練を実施した。</p>		



		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
<b>埋蔵文化財の保護</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<p>市内における周知の埋蔵文化財包蔵地は、旧亀山市域で357遺跡、旧関町域で47遺跡あったが、平成17～20年度で、国庫補助事業により旧関町域において遺跡詳細分布調査事業を実施し、50遺跡を追加して454遺跡となった。</p> <p>旧関町域については、近世の遺跡を含む周知の埋蔵文化財包蔵地の把握を行ったところであるが、旧亀山市域については近世の遺跡は「亀山城跡」など一部を把握するにとどまっており、今後現地踏査、文献史料調査等により確認を進め追加していく。</p> <p>また、文化財の保存・活用に当たっては、当該文化財が所在する地点の埋蔵文化財の状況を把握した上で、その保護に十分留意するものとする。このことは、当該文化財の周辺に所在する、時代や性格等の上で一連の遺跡についても同様とする。</p> <p>開発行為にあたっては、周知の埋蔵文化財包蔵地については試掘調査を実施したうえで、必要に応じて発掘調査を実施する。また、周知の埋蔵文化財包蔵地以外についても、開発担当部局、及び事業者との事前協議を実施し、必要に応じて試掘調査を行うなど、開発行為と文化財保護との整合につとめる。協議にあたっては、三重県教育委員会との連絡調整を図るとともに、必要な指導を受ける。</p> <p>なお、市内における周知の埋蔵文化財包蔵地については、各事業に関連した位置図中に示した。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>・埋蔵文化財の保護として、平成18年度から継続して鈴鹿関跡範囲確認調査(発掘調査・現地測量調査)を実施。平成26年度までの調査成果をまとめた調査報告書を平成27年度に作成・刊行した。引き続き、鈴鹿関跡の学術的価値を明らかにするために発掘調査や現地地形測量調査等を行う。これらの調査の成果をもって、国史跡指定を目指す。</p> <p>現地測量調査面積：H18年度3,800㎡・H19年度6,000㎡・H21年度4,300㎡・H22年度5,200㎡・H23年度5,200㎡・H24年度9,000㎡・H25年度6,000㎡・H26年度6,000㎡・H28年度1,000㎡</p> <p>・市公共事業に対する文化財保護として、市関係各室に事業照会し文化財保護協議を実施。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		鈴鹿関西外郭線の範囲についてはほぼ確定してきた。今後、この西外郭線の範囲の国史跡指定のためには、確認されている遺構等の学術的価値を明らかにする必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
<p><b>■埋蔵文化財の保護</b></p> <p>市公共事業(関の山車会館整備事業)に伴う埋蔵文化財(鈴鹿関跡)発掘調査</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">鈴鹿関跡発掘調査状況【亀山市関町木崎、撮影：平成29年1月】</p>			

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化財の総合的な把握による普及・啓発の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	有形・無形の文化財を、歴史的関連性や地域的関連性などに基づいて、相互に関連性のある一定のまとまり(「関連文化財群」としてとらえ、これらをつなぐ物語を創造する。これにより、より多くの人々が文化財の価値に気づき、資産として活用しやすくする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の価値を再認識するため、文化財を活用した普及啓発活動を行った。 ・「古代三関」シンポジウムを開催(平成29年3月18日):約300名参加 ・歴史博物館による市内小中学校等への出前展示等:9校 ・歴史博物館によるふれあい教室フィールドワークを開催(平成28年10月15日) ・旧亀山城多門櫓周辺の文化財説明会を開催:随時			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>■「古代三関」シンポジウムの開催(平成29年3月18日)</b></p>  <p style="text-align: center;">「古代三関」シンポジウム 【撮影:平成29年3月18日】</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">歴史博物館企画展「鈴鹿関」チラシ</p> </div> </div>			

■歴史博物館による市内小中学校及び地域への出前展示等



亀山市立昼生小学校  
6年生 出前授業  
【撮影：平成28年6月20日】



亀山市立神辺小学校  
6年生 移動展示  
【撮影：平成28年6月24日】



亀山市立井田川小学校  
3.4年生 出前授業  
【撮影：平成28年7月19日】



亀山市立亀山西小学校  
5、6年生 出前授業  
【撮影：平成28年8月5日】



川崎地区学童保育所 出前授業  
【撮影：平成28年8月24日】



亀山市立中部中学校  
移動博物館  
【撮影：平成28年10月29日】



亀山市立昼生小学校  
6年生 出前授業  
【撮影：平成29年1月19日】



亀山市立亀山中学校出前授業  
【撮影：平成28年1月21日】



亀山市立井田川小学校出前授業  
【撮影：平成28年1月27日】

■歴史博物館によるふれあい教室フィールドワークの開催



亀山市立昼生小学校フィールドワーク  
【撮影：平成28年10月15日】

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化財と一体となっている周辺環境の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容 関連文化財群により、文化財等が一定の範囲に集中する場合には、文化財等と一体となって価値を成す周辺の環境まで含め、亀山市景観計画を通じ、文化財の周辺環境の保全を図る。見学者の利便とともに地域住民との交流が行えるよう、適切な場所を選んで駐車場や案内板・説明板、トイレ等を整備する。また、文化財がよりよく望むことができる眺望のポイントの整備や、文化財の周囲における官民両空間における景観整備などにより、文化財が周辺の環境と一体となっていることが意識されるよう努める。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・市指定史跡文化財に説明板を設置(3ヶ所)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		これまでの事業で、歴史的風致拠点整備が完了しつつある状況である。今後は、それらを結ぶ面的な整備計画に取り掛かりたい。	
状況を示す写真や資料等			
<p><b>■文化財説明看板設置</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>能古茶屋跡 着工前【撮影:平成29年1月】</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>能古茶屋跡 完成【撮影:平成29年3月】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>藩校明倫舎跡 着工前【撮影:平成29年1月】</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>藩校明倫舎跡 完成【撮影:平成29年3月】</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>亀山城西出丸跡 着工前【撮影:平成29年1月】</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>亀山城西出丸跡 完成【撮影:平成29年3月】</p> </div> </div>			

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
<b>市民・地域の参画による文化財を核としたまちづくりの推進</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存及び活用は、人々に文化財と触れる「きっかけ」や、文化財に関わる様々な活動の契機を提供することとなる。文化財の保存と活用を進めることにより、市民が文化財に触れる機会を充実するとともに、市民が文化財を核とした地域のまちづくり活動に参加することができるよう、施策の展開を図っていく。また、文化財に触れる機会や、文化財を核としたまちづくり活動を介して、人々の交流が進められるよう積極的な施策の展開を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財を核とした様々なまちづくり活動を実施した。 ・市民・地域が中心となった歴史的建造物を活用したイベント等の開催。 ・地元住民が中心となって旧館家住宅と旧木村邸でひな飾りを展示した。開催期間：平成29年2月11日～平成29年3月12日 来場者数：旧館家4,337名 旧木村邸10,030名 ・重点区域内での様々なまちづくり活動の波及効果として、重点区域外で文化財を核としたまちづくり活動が行われている。 ・峯城跡(県指定史跡)保存会活動。 ・金王道ウォーキング。開催日：平成28年5月29日参加者：30名 平成28年12月3日参加者：55名			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		特になし	
状況を示す写真や資料等			
<p>●市民・地域が中心となった歴史的建造物を活用したイベント</p> <p>■東海道のおひなさま(亀山市観光協会主催)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>旧館家住宅(市指定建造物・歴史的風致形成建造物)でのひなまつり。地元市民が中心となってひな飾りを展示【撮影：平成29年2月】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>旧木村邸(歴史的風致形成建造物)でのひなまつり。地元市民が中心となって雛飾りを展示【撮影：平成29年2月】</p> </div> </div> <p>●重点区域外で文化財を核としたまちづくり活動</p> <p>■峯城跡保存会活動(峯城保存会)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>峯城跡の地元住民が自主的に『峯城保存会』を立ち上げ、城跡への道の草刈りや城内の雑木の間伐を実施するなどして、峯城跡の歴史的環境の整備をできる範囲で実施。【撮影：平成28年10月15日】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>峯城保存会が鈴鹿市愛宕公民館歴史講座受講者と共に峯城跡において交流見学会を開催。他地域の人々と交流を図ることができた。【撮影：平成28年12月6日】</p> </div> </div>			

■金王道ウォーキング(金王道ウォーキング実行委員会主催)



第19回金王道ウォーキング【撮影:平成28年5月29日】



亀山市南部の屋生地区に残る、伝説の武将「洪谷金丸」が通ったと言われる道『金王道』を歴史ロマンに彩られた隠れ古道として顕彰し、後世に伝えるとともに屋生地区のまちづくり事業の一つとして、初夏と秋にウォーキングを実施。  
【撮影:平成28年5月・12月】

第20回金王道ウォーキング【撮影:平成28年12月3日】

		評価対象年度	平成28年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
1. 華やぐ城 亀山でも見頃	平成28年4月4日	中日新聞	
2. 亀山城桜まつりにぎわう	平成28年4月4日	伊勢新聞	
3. お城と桜描く	平成28年4月19日	中日新聞	
4. 「関宿」の歴史に触れる 亀山 祭りばやしも堪能	平成28年4月26日	伊勢新聞	
5. 番傘さして関宿を散策 7カ国代表ら 2016ジュニアサミット	平成28年4月26日	中日新聞	
6. 甲冑姿で練り歩く 亀山の関宿 観光客らびっくり	平成28年5月7日	伊勢新聞	
7. 大型望遠鏡で木星を観察 亀山で親子ら 坂下宿	平成28年5月16日	伊勢新聞	
8. 武将の道「金王道」を歩く 亀山35人 歴史に思いはせ	平成28年5月30日	伊勢新聞	
9. ハナショウブ見頃 亀山公園でアジサイも	平成28年6月11日	伊勢新聞	
10. 来月16、17日 関宿街道まつり 亀山で山車見に来て	平成28年6月23日	伊勢新聞	
11. 豪華な山車楽しみ きょうとあす 関宿祇園夏祭り	平成28年7月16日	中日新聞	
12. 歴史香る武具など50点 夏休みの自由研究に 亀山市歴史博物館で企画展示	平成28年7月17日	伊勢新聞	
13. 祭りばやし叫び男衆町並み練る 関宿祇園夏まつり	平成28年7月17日	中日新聞	
14. 山車巡業に舞台回し 関宿祇園夏祭り熱気 亀山	平成28年7月20日	伊勢新聞	
15. 来月6日に「亀山納涼大会」灯おどりや仕掛花火	平成28年7月27日	伊勢新聞	
16. 多彩な武具に歴史感じて 亀山の博物館で企画展	平成28年7月29日	中日新聞	
17. あす亀山公園でステージや花火 納涼大会	平成28年8月5日	中日新聞	
18. 関宿観光客の新名所に 亀山で関所4カ月 キャトル体験工房「彩花里」	平成28年9月1日	伊勢新聞	
19. 「心形刀流」の剣術披露 赤心会 亀山演武場で見学会	平成28年9月5日	伊勢新聞	
20. 関宿訪問、疲れ癒す 東京五輪アピールの旅 次は鈴鹿峠越え	平成28年9月28日	伊勢新聞	
21. 関宿の防災歩いて観察 亀山で市民講座	平成28年9月28日	中日新聞	
22. 古民家空き家 活路開く 亀山商議所がデータ管理へ 関宿に開業需要も	平成28年9月29日	中日新聞	
23. リニアの駅を亀山に 誘致に向け奈良市がPR動画撮影	平成28年9月30日	伊勢新聞	
24. 亀山の重要建造物群保存地区 国交相が関宿視察	平成28年10月10日	伊勢新聞	
25. 出展作家が会場を視察 来秋・亀山トリエンナーレ前に	平成28年10月10日	中日新聞	
26. 亀山神社で「宵宮祭」大ちょうちんを献燈	平成28年10月16日	伊勢新聞	
27. 来月6日 関宿街道まつり 亀山	平成28年10月21日	伊勢新聞	
28. 江戸時代にタイムスリップ 大名行列や花魁道中 関宿街道まつりに1万2000人 亀山	平成28年11月7日	伊勢新聞	
29. 大名行列 関宿街道練る 亀山 甲冑隊や女官も活気	平成28年11月7日	中日新聞	
30. 亀山で街道まつり 時代絵巻華やか 1万2000人楽しむ	平成28年11月7日	中日新聞	
31. 関宿の相撲甚句作る 亀山	平成28年11月16日	中日新聞	
32. 「関宿相撲甚句」歌う 亀山市 文化講座受講者ら	平成28年11月16日	伊勢新聞	
33. みえうんちく学習帳 見動き限界関の山 亀山・関宿の山車から	平成28年11月29日	中日新聞	
34. 古道「金王道」を歩く 亀山ゆかりの地 思いはせ	平成28年12月8日	中日新聞	
35. つきたておいしい 亀山の道の駅 家族連れら餅つき	平成28年12月19日	伊勢新聞	
36. 一足早く正月気分 亀山の道の駅 家族連れら餅つき	平成28年12月20日	中日新聞	
37. 90カ所におひなさま 亀山 11日から、街道沿いで	平成29年2月8日	伊勢新聞	
38. 街道90カ所に彩り おひなさま出迎え あすから亀山宿・関宿一帯で催し	平成29年2月10日	中日新聞	
39. 「古代三関」テーマにシンポ 18日、亀山市文化会館で	平成29年3月16日	伊勢新聞	
40. 関所の価値 研究発表 あす亀山 鈴鹿関など3カ所	平成29年3月17日	中日新聞	
41. 亀山で「古代三関」シンポ 保存活用で基調講演 共通性、独自性の発表も	平成29年3月19日	伊勢新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史まちづくり事業において修理した歴史的建造物を積極的に活用しており、その事例が新聞等で報道された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	特になし		
状況を示す写真や資料等			

	評価対象年度	平成28年度
項目		

**歴史まちづくりの効果**

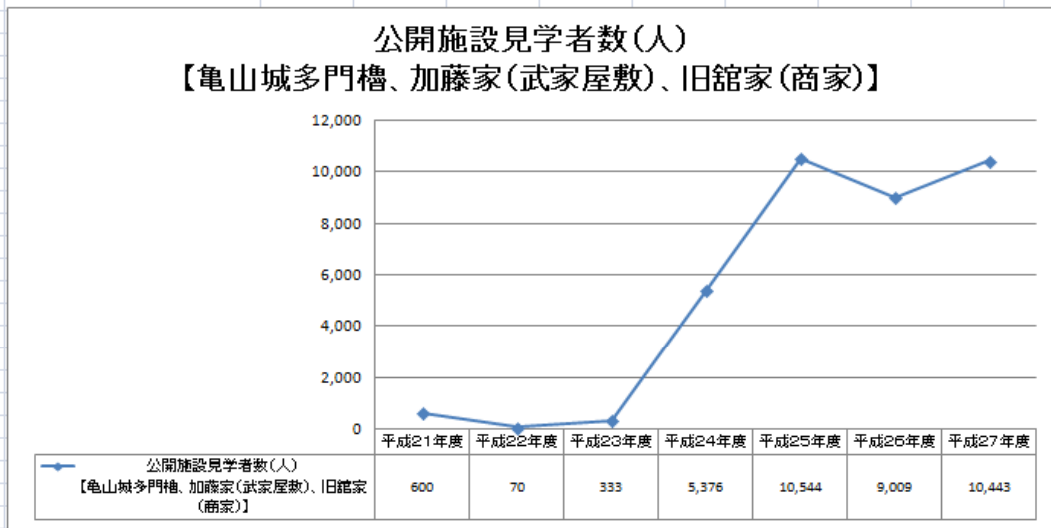
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・亀山城周辺歴史的公開施設来場者数の推移  
 亀山城多門櫓を軸とし、亀山城周辺の施設等の面的な整備を行ったことにより、公開施設の回遊性が向上し、来場者数の増加に繋がった。  
 ・住民意識の向上(アンケート結果による)  
 東海道関宿のまちなみ保存とともに亀山城周辺の施設整備を行ったことにより、まちなみ保存に対する住民意識が向上し、観光地としての魅力が高まりつつある。

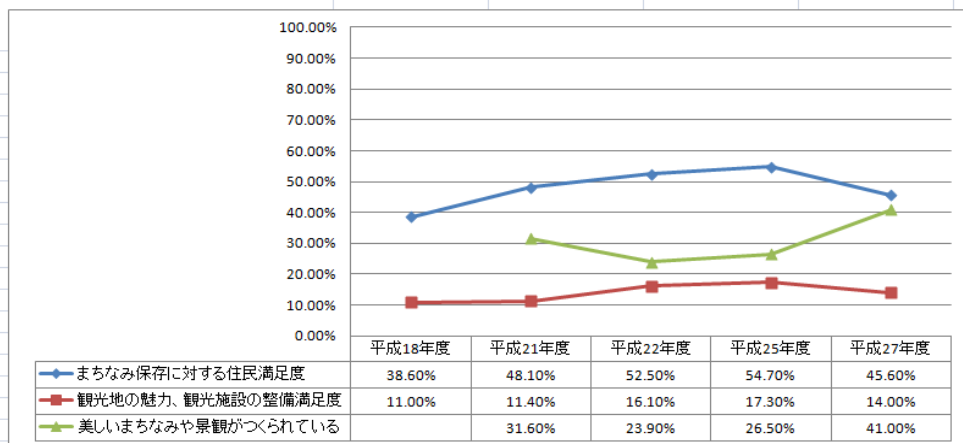
進捗状況 ※計画年次との対応	実施にあたっての課題(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	特になし

状況を示す写真や資料等

**■亀山城周辺歴史的公開施設来場者数の推移**



**■住民意識の向上(アンケート結果による)**






総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	26年度～ 28年度
計画に記載している方針	<p>歴史的風致を示す伝統文化、歴史的建造物等の保存と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物の文化財指定や、保存と活用の充実強化。</li> <li>・すでに失われた建造物等の復原や説明板等の設置</li> <li>・伝統文化等の伝承活動への支援、及び文化財指定</li> <li>・人々の活動の場となっている歴史的建造物等の計画的な保存修理と運営等の充実</li> </ul>
計画に記載している課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物の喪失</li> <li>・東海道上の各集落の断片化</li> <li>・街道の人々の活動の場としての充実</li> </ul>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③-6 歴史的風致形成建造物事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財指定等の歴史的建造物については、歴史的風致形成建造物として指定済みの建造物について保存整備事業を完了または実施中である。</li> <li>・歴史的建造物等の保存修理件数 H26:1件、H27:1件、H28:0件</li> <li>④-1 歴史文化資産の調査・研究の充実と条例に基づく指定の推進</li> <li>・文化財指定等については、修復復原された建造物を新たに県指定有形文化財(建造物)に1件指定され、着実に進んでいる。</li> <li>H26:県指定(1件)→H27:変更なし→H28:変更なし</li> <li>④-2 保護事業の推進</li> <li>・H26:4件、H27:3件、H28:3件</li> <li>④-5 文化財と一体となっている周辺環境の整備</li> <li>・説明板等を設置したことにより文化財が周辺の環境と一体となっていることが地域住民及び一般者に意識されてきた。</li> <li>・説明板等の設置件数 H26:4件、H27:3件、H28:3件</li> <li>④-6 市民・地域の参画による文化財を核としたまちづくりの推進</li> <li>・重点区域内で市民・地域が中心となった歴史的建造物を活用したイベント等の開催</li> <li>・H26来場者数:旧館家3,009名、旧木村邸6,548名・H27来場者数:旧館家4,337名、旧木村邸10,030名・H28来場者数:旧館家4,633名、旧木村邸9,598名</li> </ul>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点区域内の歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物として指定の上、保存整備を実施した。整備を実施した歴史的建造物は各集落に分布しており、東海道の一体化を図る意味でも事業が着実に進んでいる。</li> <li>・「加藤家」は、この度の保存修理及び環境整備により、史跡の公開性が高まった。また、近年、長屋門、主屋内部で展示会場として公開活用(H26年度～H28年度 開館日数:300日間)し、見学者の利便性が高まった。</li> <li>・「亀山城関連施設」復原事業が完了した歴史的風致形成建造物では、散策や見学する人々が多く見られ活用につながっている。</li> </ul> <p>&lt;定量的指標&gt;</p> <p>歴史的風致形成建造物指定件数:12件  H26:0件→H27:1件→H28:3件(予定)  保存修理を完了(実施中)した歴史的風致形成建造物件数:12件  事業件数:2件  H26:1件、H27:1件、H28:0件</p> <div data-bbox="571 1377 1334 1556" style="text-align: center;">  <p>整備を完了した歴史的風致形成建造物</p> </div>
達成状況の評価、要改善事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■想定通り効果が発現している</li> <li><input type="checkbox"/>今後発現が予想される</li> <li><input type="checkbox"/>要対策検討</li> <li><input type="checkbox"/>現段階では判断できない</li> </ul> <p>(要改善事項)</p> <p>これまでの事業で、歴史的風致拠点整備がほぼ完了しつつある状況であることから、今後はそれらを結ぶ面的な整備をして、東海道上の各集落の断片化の解消及び街道の人々の活動の場としての充実に対する連携を進める必要がある。</p>
計画見直しの必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■計画の見直しが不要</li> <li><input type="checkbox"/>計画の見直しが必要(見直しの理由・方針)</li> </ul>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	26 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	<p>新たな歴史文化遺産の発掘と調査等による価値付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に基づく事業等の実施にあたっては、地下遺構の学術調査を十分に行う。</li> <li>・新たな時代や分野の遺産を積極的に探し出し、市域における歴史や文化の発展との繋がりを解明する中で、歴史的風致の解釈の広がりや深まりを追及する。</li> </ul>
計画に記載している課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東海道上の各集落の断片化</li> <li>・街道の人々の活動の場としての充実</li> </ul>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>④-3 埋蔵文化財の保護 鈴鹿関跡範囲確認調査(発掘調査・現地測量調査)を実施した。調査の成果について作成・刊行し、引き続き、国史跡指定を目指す。</p>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>重点区域において事業等を実施するにあたっては、地下遺構の学術調査を十分に行うとともに、その成果を事業に反映させた。 特に、加藤家屋敷保存整備事業については、発掘調査により、現存する主屋が江戸時代後期の建築であることが判明し、復原修理方針の決定に影響を与えた。</p>  <p>加藤家屋敷跡発掘調査 【撮影：平成26年2月】</p> <p>亀山城周辺にあたる野村地区まちづくり協議会が主催するイベントとして「野村地区歴史文化資産探訪」を行い、同地区に所在する歴史・文化資産の見直しや新たな掘り起こしを行った。</p> <p>野村地区歴史文化資産探訪 【撮影：平成28年12月】</p> <p>古代東海道の要衝であった「鈴鹿関跡」については、国庫補助を得て継続的に発掘調査を実施し、平成27年度に発掘調査報告書を刊行するなど、国史跡指定を目指した資料の蓄積が進んだ。</p> <p>&lt;定量的指標例&gt; 鈴鹿関跡範囲確認調査における測量面積 H26: 6,000㎡、H28: 1,000㎡</p>
達成状況の評価、要改善事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 想定通り効果が発現している</li> <li>□ 今後発現が予想される</li> <li>□ 要対策検討</li> <li>□ 現段階では判断できない</li> </ul> <p>(要改善事項)</p>
計画見直しの必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 計画の見直しが不要</li> <li>□ 計画の見直しが必要</li> </ul> <p>(見直しの理由・方針)</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	26 年度～ 28 年度
計画に記載している方針	<p>歴史的風致を維持向上するために必要な諸施策・計画及び関連施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海道沿道を景観形成を重点的に進める地区として位置づける。</li> <li>・街道の街路等の整備を重点的に進める。</li> <li>・歴史的風致を損なっている建造物等の景観上の改善</li> <li>・休憩・休養・交流・便益施設等の整備・活用</li> </ul>
計画に記載している課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東海道上の各集落の断片化</li> <li>・街道の人々の活動の場としての充実</li> <li>・土地利用に関して各地区の実情に合わせて都市計画や景観法などを活用</li> </ul>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>②-1 景観行政団体への移行、亀山市景観計画の策定 重点区域内の景観規制の方針に従い、地元懇談会等を開催しながら、平成23年6月に亀山市景観計画を策定、9月に運用を開始した。また、重点地区の2箇所に景観形成推進地区を指定し高さ規制(12m以下かつ3階以下)等を実施した。</p> <p>平成25年4月には、旧亀山城多門櫓の復原修理工事が完了したことから、亀山市第1号の景観重要建造物の指定を行った。</p> <p>平成27年4月1日には、亀山市携帯電話基地局の設置に関する景観形成ガイドラインを運用し、重点区域内等での携帯電話基地局の設置に対してきめ細やかな景観配慮を行った。</p> <p>平成28年には景観形成推進地区(亀山城下町、関宿周辺)に対し、景観計画の周知チラシを作成し周辺住民への周知を行った。</p> <p>③-1 東海道街道環境整備事業(鈴鹿峠) ③-2 東海道街道環境整備事業(坂下宿) ③-3 東海道街道環境整備事業(太岡寺躰) ③-4 東海道街道環境整備事業(野村集落～野村一里塚)</p> <p>平成28年度から庁内において事業調整会議を設置し東海道の整備方針やスケジュールについての検討会を8回開催した。</p>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>平成23年度から重点地区内にある2箇所を亀山市景観計画の景観形成推進地区として(亀山城下町、関宿周辺)指定を行い、平成25年から平成28年までに同地区内で約30件の届出を受理し景観の向上に寄与した。また、同地区内の歴史的・形成建造物を(加藤家屋敷・館家)を整備、活用することで、亀山トリエンナーレや地域づくり研修会など市民団体の活動の場として使用する機会が増加し、重点区域内の交流や来訪者の回遊性が向上した。</p> <p>街道整備については、事業調整会議を設置し整備に向けて着実に検討を進めている。</p> <p>&lt;定量的指標&gt; 市民アンケート結果「市全体の美しいまちなみや景観がつけられている」 平成25年度26.5%⇒平成27年度41.0%(約14%増加)</p>
達成状況の評価、要改善事項	<p>■ 想定通り効果が発現している</p> <p><input type="checkbox"/> 今後発現が予想される</p> <p><input type="checkbox"/> 要対策検討</p> <p><input type="checkbox"/> 現段階では判断できない(要改善事項)</p>
計画見直しの必要性	<p>■ 計画の見直しが不要</p> <p><input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要(見直しの理由・方針)</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	26年度～ 28年度
計画に記載している方針	<p>歴史的風致を維持向上するための担い手の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的風致を形成している地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動を活発にし、歴史文化を継承していくため、伝統文化の普及啓発、記録等の作成や発表の機会の充実等を図る。</li> <li>・歴史的風致の維持向上に直接かかわる活動や、活動を支援する活動に関わる地域団体、市民団体、保存団体等の育成に努める。</li> </ul>
計画に記載している課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能等の次世代の担い手の不足及び熟練者の高齢化・減少化</li> <li>・地域に根差した人々の活動と、旅人(来訪者)による活動との交流の減少</li> </ul>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③-5 「関の山車」会館整備事業 建設予定地で「関の山車」お囃子披露会を開催したことにより、保存団体等への伝承につながる。(参加者:80名(内、子ども40名))</p>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容 (可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>「関の山車」の巡行を行う4地区の内、1地区のみこれまでお囃子が途絶えていたが、お囃子を復活させるために練習を再開した成果として、平成26年度に地域づくり団体全国研修交流会や宿伝統的建造物群保存地区選定30周年記念シンポジウム、平成28年度には関の山車会館整備予定地にて、お囃子発表会を実施。新たな担い手の育成が図られるようになり、お囃子の継承に結びついた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="587 954 995 1160">  <p>地域づくり団体全国交流研修会亀山分科会お囃子発表実施状況</p> </div> <div data-bbox="587 1173 995 1388">  <p>関宿伝統的建造物群保存地区選定30周年記念シンポジウムお囃子発表実施状況</p> </div> <div data-bbox="587 1438 995 1675">  <p>関の山車会館整備予定地のお囃子発表会 【撮影:平成28年7月9日】</p> </div> </div>
達成状況の評価、要改善事項	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している  <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される  <input type="checkbox"/> 要対策検討  <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない(要改善事項)         </p>
計画見直しの必要性	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要  <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要(見直しの理由・方針)         </p>

## 代表的な事業の質の評価

### (1) 評価を頂く有識者・評価対象とする代表事業の選定

評価を頂く有識者：菅原 洋一 建築史  
佐々木 宣明 考古学  
中浦 豊子 建築士

評価対象とする代表事業

①加藤家屋敷保存整備事業

平成20～26年度事業

### (2) 当該事業の概要と取り組みの自己評価の記載、及び有識者からの評価コメントの受領

評価対象事業の調査 平成29年2月6日(月)

評価コメントの受領 平成29年2月6日(月)

### (3) 今後の対応方策の記載、及び法定協議会での審議による意見の反映

今後の対応方策の記載 平成29年2月6日(月)

法定協議会での審議 平成29年2月6日(月)



菅原氏・佐々木氏・中浦氏による外部評価

評価対象年度	20年度～	26年度
・歴史的風致維持向上施設の整備・管理		
<p>代表的な取り組み①: 加藤家屋敷保存整備事業</p>		
<p>(取り組み概要)                      &lt;施設の概要と事業の目的&gt;                      ・加藤家は、亀山藩主石川家の家老職を代々つとめた家で、亀山城下の武家地に屋敷を構える。屋敷内には、現在でも主屋、長屋門及び土蔵が残り、すでに長屋門及び土蔵については市有形文化財として指定し、修理等を終えている。なお、亀山藩主石川家家老加藤家屋敷跡を市史跡として指定している。                      ・加藤家長屋門及び土蔵は、亀山城下町において、屋敷・建造物が一体となって保存されている唯一の武家屋敷であり、亀山宿・亀山城を中心とした地域の歴史的風致を形成する特に重要な要素のひとつとして、歴史的風致形成建造物として指定した。                      ・当事業により、その保存が図られ地域の誇りを育むとともに、屋敷全体を公開することで一層の活用を促進することができる。                      &lt;事業内容&gt;                      ・平成20年度に屋敷の公有化、平成21年度に門・塀の設計を行い、保存修理工事を実施した。                      ・平成22年度に保存修理に伴う主屋の修理調査設計を行った。                      ・平成25年度に屋敷内全体の整備計画及び主屋復原に伴う実施設計、修理工事を実施した。                      ・復原修理工事の一環として、環境整備、植生管理及び屋敷内消火栓設置の工事を実施した。</p>		
<p>(自己評価)                      ・平成20年度から史跡の主要な部分について公有化し、継続して本格的な整備を行ったことにより、歴史的風致が高まった。                      ・公有化、屋敷内整備、管理人の配置により屋敷の維持管理が充実した。                      ・整備と並行して実施した文化財調査(埋蔵文化財調査、建造物調査等)により屋敷遺構の確認や主屋の歴史的価値が確認され、史跡の文化財的価値が高まった。                      ・長屋門及び土蔵への展示設置により、史跡の公開性が高まった。                      ・整備完了後、現代アートの発表の場など新たな活動の場として使用され、活用性も高まった。</p>		
<p>(外部評価)</p>		
<p>・外部有識者名(役職・肩書き等):菅原洋一(建築史)、佐々木宣明(考古学)、中浦豊子(建築士)</p>		
<p>・外部評価実施日:平成29年2月6日</p>		
<p>・有識者コメント                      ・三重県内で数少ない武家屋敷を亀山市で保存できたことは、非常に良いと思う。また、自己評価のとおり、整備を行ったことにより、歴史的風致が高まったと思われる。                      (今後の課題)                      ・歴史的風致形成建造物として公開活用し説明板等を設置しているが、史跡及び建物の全体像がわかりづらいため、史跡全体及び建物全体が理解できるような説明板や説明資料が必要である。                      ・建物整備については、主屋が当初建物の一部分であるのに関わらず完結した建物のように見えることから外構を含む工夫が必要だったのではないかと。                      ・散策者や見学者の利便性施設(便所)等の設置、または、周辺施設の利用案内等の説明が必要ではないかと。                      ・建物活用にあたり、利用者数やコメント等も把握する必要があるのではないかと。                      ・外構整備については、配置等において当時の姿と現在の整備でつつまがあわない部分があるため、わかりやすく工夫をする必要があるのではないかと。また、回遊性の向上にあたり、加藤家周辺において来訪者用駐車場の確保が必要ではないかと。                      ・施設の活用の実施にあたり、市民の創意を活かした更なる活用(お茶会等)が出来るよう市民等に対して働きかけをしてほしい。                      ・公開施設の周知は行っているが、亀山城周辺における施設全体の連携した活用できるようにしてほしい。                      ・施設内にある大イチョウの木についても、活用できるよう検討をお願いしたい。</p>		
<p>(今後の対応方針)                      施設整備においては概ね問題ないが、その後の周知活用においては、案内看板や外構、駐車場整備などに課題が残っているため、歴史的風致の更なる向上のため関係部局と連携し検討を行います。</p>		

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成28年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 亀山市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成29年2月6日	
(コメントの概要) (全体意見) ・計画全体については、計画の延伸を行い着実に事業を進めていく姿勢については評価できる。 また、未実施の事業(道路整備等)の実施に向けた検討体制も出来ているのも良い。 ・事業後の公開施設の活用については、来訪者に理解してもらうための工夫が必要ではないか。	
(個別意見) ・施設管理用の駐車場に、駐車している車が見受けられるため対策(注意看板等)が必要ではないか。	
(今後の対応方針) ・事業後の公開施設の周遊性がさらに高まるように刊行物等を充実させたい。 ・注意喚起を行うなど適切な施設管理に努めたい。	